

▼コバールトリイ静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 オクトコグベータ（遺伝子組換え） octocog beta（Genetical Recombination） 【分類】 遺伝子組換え型血液凝固第VIII因子製剤

【単位】 ▼250IU・▼500IU・▼1000IU・▼2000IU・▼3000IU/V [注射用水付き]

【常用量】 ■1回10～30IU/kg [適宜増減]

■定期的に投与する場合、20～40単位/kgを週2～3回

【用法】 緩徐に静注

【透析患者への投与方法】

【保存期CKD患者への投与方法】

【特徴】 オクトコグ アルファ（コージネイト FS）と同じアミノ酸配列を有する非修飾、完全長の遺伝子組換え型ヒト血液凝固第VIII因子（rFVIII）製剤。製造過程でヒト血漿タンパクを用いないため、ヒト血液に起因する感染症の潜在的なリスクを排除できる。

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】

【tmax】

【代謝】 各構成アミノ酸及びペプチドに代謝（1）

【排泄】 分解されて排泄（1）

【CL】 3mL/min（1）

【t1/2】 12.8日（1）

【蛋白結合率】

【Vd】 0.05L/kg（1）

【MW】 約35万

【透析性】 透析されない（1）

【OW係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20180403

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。